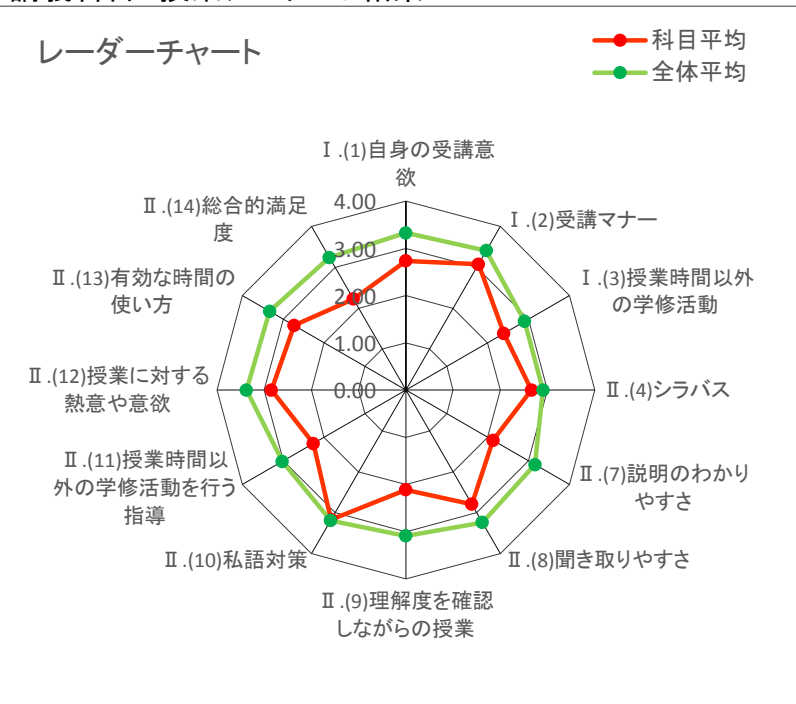
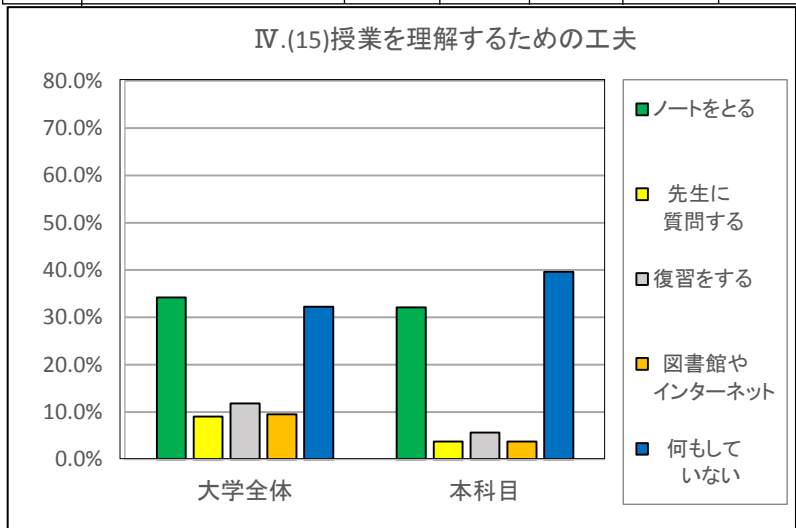


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	32.1%	3.8%	5.7%	3.8%	39.6%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	33204
科目名	保健学Ⅱ(疫学)
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	2.74	3.33
	I.(2)	3.08	3.41
	I.(3)	2.40	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.66	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.13	3.16
	II.(8)	2.79	3.24
	II.(9)	2.11	3.09
	II.(10)	3.17	3.19
	II.(11)	2.26	3.03
	II.(12)	2.85	3.38
	II.(13)	2.74	3.33
	満足度	II.(14)	2.23

①授業計画の達成度について
 授業は、事前に計画していた内容を順調に進行させ、すべて完了した。
 十分な授業時間が与えられていたため、余裕をもって授業計画通り、必要なすべての項目を100%達成した。

②授業の進め方について
 授業は、2種類の教科書を使用し、毎回参照するページを明示し、重要な部分についてはマーキングさせるなどポイントを確実に押さえた。
 毎回の授業では、過去の国家試験問題を解かせ、各項目ごとに習得すべき疫学の内容を理解させ、将来の国家試験を十分に意識させた。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.74	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.59	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	2.23	3.24
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 難易度が高い授業であったとの評価が著しく高くなっていた。疫学は、単に知識を詰め込めばよいという科目ではなく、用語や概念の一つ一つを深く理解する必要がある、学生自身にも講義時だけでなく自己学習が必要な科目であるといえる。そのため、図表中心のわかりやすくまとめられた教科書と読んで理解する教科書の二つを準備した。自己学習した学生とそうでない学生は、期末試験で大きな格差が現れていたことから、そのことがよく理解できた。教員としては、使い分けをとおうと二つの教科書を準備したが、その趣旨を十分に理解していなかった学生もいたことは確かである。今後は、教科書を統一し、自己学習を促すような工夫を行いたい。